

2022年6月24日

三井 E&S 造船株式会社
株式会社商船三井
常石造船株式会社

アンモニアを燃料とするネットゼロ・エミッション外航液化ガス輸送船の建造に向けた共同開発を開始

三井 E&S 造船株式会社（社長：船津勇、本社：東京都中央区）、株式会社商船三井（社長：橋本剛、本社：東京都港区）、および常石造船株式会社（社長：奥村幸生、本社：広島県福山市）の 3 社は、アンモニアを燃料とする外航液化ガス輸送船（以下「本船」）の建造に向けた共同開発を開始しました。



外航液化ガス輸送船（イメージ）

本船は燃焼時に CO₂ を排出しないアンモニアを燃料として使用可能な主機関を搭載した、中型アンモニア・LPG 輸送船です。貨物として積載したアンモニアの一部を燃料として使用し、航海中の CO₂ 排出量ネットゼロを実現することを目標としています。また、本船はアンモニア国際海上輸送の過半を担う船型であり、主要なアンモニア・LPG の出荷・受入港への入港が可能かつ多様な航路への投入が見込める汎用性の高い船型です。今後共同開発、設計を進め、「商船三井グループ 環境ビジョン 2.1」で目標としている「ネットゼロ・エミッション外航船」の 1 番船として 2026 年頃の竣工・運航開始を予定しています。脱炭素化の流れの中で、次世代のクリーンエネルギーとして世界的なアンモニアへの関心が高まっており、海事産業においてもアンモニアを燃料として戦略的に活用しようという動きが加速しています。

アンモニアの船用燃料および海上輸送に対するニーズの増加が見込まれるなか、3社はネットゼロ・エミッション外航船によるクリーンな海上輸送ソリューションを提供し、脱炭素化の実現に向けた社会全体の取り組みの一翼を担ってまいります。

[本船概要]

全長：約 180m

全幅：約 30m

型深：約 19m

積載容量：約 40,000m³

主機：三井-MAN B&W 製アンモニア燃料 2 ストロークエンジン S60 型（開発中）



外航液化ガス輸送船（イメージ）

[三社概要]

三井 E&S 造船株式会社

設立：2018年4月（創業1917年11月）

本社所在地：東京都中央区築地5丁目6番4号

代表者：代表取締役社長 船津 勇

事業内容：設計エンジニアリングサービス、船用機器、操船システム、DX・モニタリング、技術支援など

株式会社商船三井

設立： 1884年5月
本社所在地： 東京都港区虎ノ門2丁目1番1号
代表者： 代表取締役社長 橋本 剛
事業内容： 海運業など

常石造船株式会社

設立： 2011年1月（創業1917年7月）
本社所在地： 広島県福山市沼隈町常石1083番地
代表者： 代表取締役社長執行役員 奥村 幸生
事業内容： 船舶の建造、修繕

【お問い合わせ先】

担当

三井 E&S 造船株式会社 / 営業部 / 03-3544-3937

報道関係

株式会社三井 E&S ホールディングス / 経営企画部 広報室 / 03-3544-3147